

公明党京都市会議員団ニュース 京都のミカタ

ミカタとは、市民の見方、くらしの味方という意味を表しています

No.20 2018年
9月発行

発行人兼編集人／曾我 修

〒604-8571 京都市中京区
寺町御池上る上本能寺前町488番地
TEL：075-222-3732
FAX：075-212-3608

公明党京都市会

検索



公明党京都市会議員団は「小さな声を聴く力」をモットーに現場の皆様の声をお聴きし、京都市政の推進にあたり、政策実現のために日々、奮闘しています。
これまで、市民の声を形にとの思いで取り組んだ政策の一部をご紹介します。

抗体が消えた子どもに ワクチン再接種助成が 7月からスタート！



京都市は7月から、骨髄移植などで抗体を失った20歳未満の子どもを対象に、ワクチン再接種費用への助成を開始しました。協力医療機関で再接種すれば、自己負担はゼロとなります。

日本では、子どもが病気にならないようにポリオなどの予防接種を受けることが推奨されています。しかし、骨髄移植などを受けると、今までにできた抗体が消えるた

め、再接種が必要で、費用は全額自己負担。約20万円かかることされています。

公明党議員が骨髄移植を受けた患者、家族から直接お話を聴きし、議員団として平成29年12月に門川大作市長に対し、要望書を提出。その後、平成30年2月議会で、全会一致で請願が採択されました。こうした取り組みが実り、今回の助成制度がスタートいたしました。

SNSを利用した 子どものいじめ相談 窓口を開始！



公明党京都市会議員団は、子どもがいじめ根絶にむけ様々な取り組みを行ってまいりました。

その中で、近年、スマートフォンの普及が著しくLINEをはじめとしたSNSを利用する子どもが急増する中で、気軽に相談できる窓口として、SNSを活用した相談窓口の設置を、主張、提案をしてまいりました。

これらの取り組みが実を結び、SNSを活用した、いじめ相談の窓口設置が決定いたしました。

まずは本年9月から京都市立高校の約5000人の高校生を対象にモデル事業として開始します。その結果を検証した上で、児童・生徒の立場に立ったいじめ相談のツールとして良いものとなるよう、更に取り組みを進めてまいります。

大阪府北部地震を受けて、 緊急要望を提出！



6月18日(月)の朝に大阪府北部地震が発生しました。

この地震で、通学中の小学生が、ブロック塀の倒壊によって、亡くなるという痛ましい事故が発生しました。この事故を受け、公明党京都市会議員団として、京都市教育長に対して緊急要望書を提出いたしました。

これらの要望を受け教育委員会として、ブロック塀の総点検と応急対策、あわせて、今後の安全対策の方針が示されました。

また、京都市としても、地震によるブロック塀倒壊の危険性を考慮し、①ブロック塀等の安全対策に関する支援窓口の設置。②ブロック塀等の除却工事の費用に対する助成制度。③ブロック塀等の点検に係る専門家派遣制度の創設。以上の事業を実施し、市民の安心安全を守るための取り組みを開始しています。

お知らせ

9月議会が開会
(9月19日～10月25日)

本会議の代表質疑は9月27日、28日に行われ、公明党からは、久保勝信議員(山科区)、平山よしかず議員(西京区)、国本友利議員(左京区)が9月28日の10時から登壇予定。KBS京都テレビでも生放送の予定です。
また、他の委員会の様子も京都市会のホームページからご覧いただけます。



湯浅 光彦 議員「右京区」

平成30年度予算編成について

平成30年度予算における投資的経費（公共事業）の必要性について丁寧の説明責任を果たすべきと質問。市長は美術館、中央卸売市場、学校整備、南部クリーンセンター、市庁舎整備など、文化、芸術、食生活の安定、焼却施設立替経費、防災拠点の整備による安心安全体制の確立など市民にとって必要不可欠であり、丁寧に説明していくと答弁しました。

食品ロスについて



廃棄された手つかず食品

食品ロス削減に向け、コンビニやスーパー等の小売業界における食品廃棄の実態調査等の取り組み強化を求めました。市長は生ごみの4割が食品ロ

歯科医療について

スで年間6万4千トンも捨てられているとし、コンビニ等における実態調査を行うと共に、「食品ロス削減推進優良店舗認定制度」を創設し、食品ロス削減の実践の輪を広げていく事を表明しました。

自らの歯を残す80―20運動をベースとしつつ、より口腔機能の維持強化が高齢社会には求められると強調。今後の取り組み姿勢について質問をしました。副市長は75歳の市民の方を対象に後期高齢者歯科健診を無料で実施。京都府歯科医師会と連携し、口腔機能が弱っていく

オーラルフレイル対策に重点を置き、健診のみならず口の筋肉トレーニング等、機能強化に取り組むと答弁しました。

小さな声を聴く力！ 小さな声を市政に反映！ 代表質問

京都市会本会議の代表質問で公明党京都市会議員団は市民生活の向上のため、京都市政について質問と提言を行いました。平成30年2月議会では湯浅光彦議員（右京区）、かわしま優子議員（伏見区）、西山信昌議員（下京区）、が5月議会では吉田孝雄議員（伏見区）、青野仁志議員（中京区）が質問に立ちました。

湯浅光彦議員のおもな質問項目

- 平成30年度予算編成について
- 府市協調について
- 食品ロスについて
- 子ども医療費について
- 中小企業の事業承継支援について
- 歯科医療について



かわしま 優子 議員「伏見区」

ひきこもり支援について

ひきこもりの長期化・高齢化などに対して、ひきこ

もりに悩む方やご家族が安心して生活していけるよう、市民理解の醸成、相談窓口の周知や支援体制の連携・強化を訴えました。門川市長は支援技術の向上を図る研修会の実施、アウトリーチの積極的な活動や支援団体との

SNSを活用したいじめ相談について

いじめに苦しむ子どもたちが、悩みが深刻化しない



SNSを活用したいじめ相談窓口「STOPitきょうと」

協働で必要な支援につなげていくと答弁しました。

障がい者の生活支援について

うちにSNSを使って気軽に相談できる窓口の開設を提案。教育長は、子どもの悩みを受け止める新たな手法として注目すべきであり、国のモデル事業に応募し、設置について検討していくと答弁しました。

障がいのある方たちが地域で自分らしく安心して生活を送れるよう、一人一人に合った支援が受けられる施策とグループホームの拡充を要望。市長



にしやま のぶまさ
西山 信昌 議員「下京区」

SDGs（持続可能な開発目標）の推進について

組み主体との連携を強化し、取り組むと答弁しました。

わかりやすい情報提供の充実について

知的障がいのある方、外国人、高齢者など、だれにもわかりやすいように、漢字にふりがなをふり平



京都ほほえみプラン・わかりやすい版

世界人権宣言70周年の取り組みについて

易な表現を用いた情報提供の充実を求めました。副市長は「はぐくみ支え合うまち・京都ほほえみプラン」の「わかりやすい版」を作成し、職員向けに「わかりやく伝えるための手引き」を作成すると答弁しました。

障害者差別解消法や部落差別解消推進法などの施行により今一層、人権尊重、差別解消が求められる中、本年、世界人権宣言70周年の取り組みについ

西山信昌議員のおもな質問項目

- SDGsについて
- わかりやすい情報提供について
- 世界人権宣言70周年の取り組みについて
- 長期入院中の児童生徒への学習支援について
- 父親への子育て支援について
- 防災意識の向上に向けた取り組みについて

かわしま優子議員のおもな質問項目

- ひきこもり支援について
- 障がい者スポーツの振興について
- 障がい者の生活支援について
- SNSを活用したいじめ相談窓口について
- 留学生との交流促進と京都情報の発信について
- 民泊について(要望)

は「24時間相談体制」を全市展開し適切な支援が行き届くよう取り組みを進めていくとともに、民間活力を生かしたグループホームの確実な整備に努めていくと答弁しました。



よしだ たかお
吉田 孝雄 議員「伏見区」

子ども医療費について

4月の京都府知事選挙を踏まえて府との協調がいつそう深化・進化すると、の展望を示すとともに、100万人対話活動で子育て世代の方から多く寄せられた「子ども医療費」支援について、いつそう拡充するよう求めました。門川市長は、対象年齢や自己負担額を見直すため

の協議を西脇知事と進めると答弁しました。

ヘルプカードの導入について

次に、障がいのある方が災害などの緊急事態に遭



「京都市版ヘルプカード」(案)が実現へ

遇した際や発作を起こした時などに、周囲の人が速やかに理解し対応できるためのアイテムとして、他都市でも導入されている「ヘルプカード」を京都市でも導入するべきと主張。副市長は現在の「安心カード」を進化させた「京都市版ヘルプカード」を作成すると約束しました。

コンテンツ産業について

最後に、文化庁移転を受けて京都の役割が大きくなる今、文化振興と観

光充実に大きく資する「コンテンツ産業」を重視。拠点の整備やクリエイター誘致などの人材育成とともに、京都の魅力を活かす体験型プロモーションの拡充を提案しました。市長は多分野と融合する柔軟な政策を積み重ねると表明しました。

吉田孝雄議員のおもな質問項目

- 子ども医療費について
- ヘルプカードの導入について
- 観光振興について
- コンテンツ産業について



あおの ひとし
青野 仁志 議員「中京区」

文化芸術振興策について

文化の力で京都を世界にと取り組んだ現代アートに関する政務調査を通じて、改めて世界的な観光都市京都は、美術系大学が集積し毎年2千人を超える卒業生を輩出するなどアート市場としてのポテンシャルは高いと実感。一方、京都で学んだ芸術家の多くが東京へ向かわざるを得ない状況があ

るため、文化芸術を志す国内外の若者が京都を目指す流れが必要と主張。門川市長は、「学生アートオークション」を通じてアート市場に関する学びの場にし、京都市立芸術大学の移転に合わせて新たな文化ゾーンの創出に取り組み、世界に開かれた文化首都・京都の実現を目指す」と答弁しました。



糖尿病の重症化予防

糖尿病は「血糖値が高い状態が続く」ことで、より重い病気に繋がります。青野議員は高齢化に伴う生活習慣と社会環境の変化による患者数増を指摘。その予防のため診療・健

診結果データの分析を行い、医療機関等と連携し、治療が必要な方々に対し、確実に治療を受けて頂く取り組みの必要性を訴え

青野仁志議員のおもな質問項目

- 文化芸術振興について
- 京都市美術館について
- フレイル対策について(要望)
- 糖尿病重症化予防について
- 再犯防止推進計画について

ました。市長は、糖尿病専門医や医師会と連携しての国民健康保険事業に加え、他の医療保険者や歯科医師会、薬剤師会、栄養士会等とも連携し、オール京都で重症化予防の取り組みを進めると表明しました。

委員会紹介

京都市会では5つの常任委員会があり、1年を通じて様々な課題に対し活発な議論がされています。



文化環境委員会

曾我修・青野仁志



京都の文化と環境の向上を！環境政策局と文化市民局に関わる分野を担当しています。



総務消防委員会

ひおき文章・西山信昌



行財政改革・防災対策に全力！行財政局・総合企画局・消防局他、多岐にわたる分野を担当しています。



教育福祉委員会

久保勝信・平山よしかず



子育て環境・福祉政策の充実・教育力の向上！保健福祉局と子ども若者はぐくみ局・教育委員会に関わる分野を担当しています。



まちづくり委員会

大道義知・国本友利

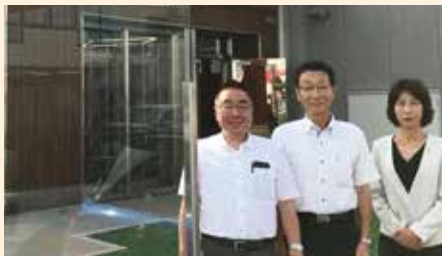


安心・安全のまちづくりへ全力！都市計画局と建設局に関わる分野を担当しています。



産業交通水道委員会

湯浅光彦・吉田孝雄・かわしま優子



京都経済の発展・ライフラインなどの重要課題に挑む！産業観光局・交通局・上下水道局に関わる分野を担当しています。

積極的に現地調査を実施

●JR梅小路京都西駅・中央卸売市場第一市場

5月に建設中のJR梅小路京都西駅と中央卸売市場第一市場の視察を行いました。京都駅西部エリア活性化に資する同事業について現地調査を行った上で、元気なまちづくりに向けて、より一層の取り組みを進めてまいります。



●京都認知症総合センター

8月には宇治市に京都府で初の「京都認知症総合センター」を視察。同センターの施設や取り組み状況を調査致しました。認知症へのケアは京都だけでなく全国的な課題で



もあるため、同センターの取り組みを京都市政に反映できるよう努めてまいります。

SDGsを門川市長に提言

公明党京都市会議員団は平成30年2月16日に京都市役所内で門川大作市長に対し、「京都市における持続可能な開発目標(SDGs=エスディージーズ)の推進に向けた提言」を提出しました。

同提言ではまず、「貧困をなくそう」「すべての人に健康と福祉を」などSDGsが掲げる17の目標について具体的な取り組みを紹介し、今後の課題に言及しています。

SDGsの「誰一人取り残さない」という理念を京都市政に反映させるための提言を行いました。

これに対し門川市長は、全庁を挙げた推進体制の構築を明言した上で、「SDGsの理念をあらゆる施策、各種計画の中に位置付けていく努力自体に価値がある。提言を熟読し、推進していきたい」と応じました。



公明党京都市会議員団の顔ぶれ

①期数 ②委員会

中京区

あおのひとし
青野 仁志

①2期
②文化環境委員会

TEL : 090-8369-9953



北区

ひみ あき
ひおき 文章

①7期
②総務消防委員会

TEL : 075-723-3967



左京区

くにもと ともし
国本 友利

①2期
②まちづくり委員会

TEL : 080-9804-7802



山科区

くぼ かつ のぶ
久保 勝信

①4期
②教育福祉委員会

TEL : 075-591-0077



下京区

にし やま のぶ まさ
西山 信昌

①1期
②総務消防委員会

TEL : 075-746-2725



南区

だい どう よし とも
大道 義知

①7期
②まちづくり委員会

TEL : 075-921-3172



右京区

ゆ あさ みつ ひこ
湯浅 光彦

①4期
②産業交通水道委員会

TEL : 075-873-2501



西京区

ひら やま よしかず
平山 よしかず

①3期
②教育福祉委員会

TEL : 075-393-8806



伏見区

そ が おさむ
曽我 修

①4期
②文化環境委員会

TEL : 090-8934-4643



伏見区

よし だ たか お
吉田 孝雄

①3期
②産業交通水道委員会

TEL : 080-9804-7801



伏見区

かわしま ゆう こ
かわしま 優子

①1期
②産業交通水道委員会

TEL : 075-634-7178



京都いつでもコール 市政情報総合案内コールセンター

市の手続きや制度、イベント、施設に関する問合せにお答えする窓口です。
午前8時～午後9時(年中無休)

●TEL:075(661)3755 ●FAX:075(661)5855

●電子メール(以下のホームページから)

パソコン <http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000012821.html>

携帯電話 <http://www.city.kyoto.jp/koho/m/cc/>

左記の二次元コードから
携帯電話でアクセスでき
ます(一部機種除く)



みなさまの「ご意見」・「ご要望」などを
公明党京都市会議員団にお寄せください

●TEL:075(222)3732

●FAX:075(212)3608

●電子メール: komei@lime.ocn.ne.jp

●ホームページ: [公明党京都市会](http://www.city.kyoto.lg.jp/komei) [検索](#)

